

多久市出身の山岳競技選手が実力発揮!

チャレンジャーおおいた国体で好成績残す

第63回国民体育大会「チャレンジャーおおいた国体」(9月27日〜10月7日)の山岳少年男子リードに出場した尾崎真人さん(佐賀工高)・樋口純裕さん(佐賀北高)のペアが優勝。また、成年男子ボルダリングに出場の祝茂男さん(大塚精工)・尾崎晃一さん(東京電力)ペアが4位入賞しました。佐賀県代表として活躍した4人は全て多久市出身です。

リードは、15mの人工壁をロープで安全を確保しながら、チームの2人が制限時間内にとこまで高く登れるかを競う競技。ボルダリングは、ロープは使わず、下にマットをひいて安全確保し、2人1組で高さ5mの人工壁を制限時間内にかに少ない回数で完登できるかを競うもの。どちらも、持ち手の短いホールド(突起)を手でつかんだり、足を掛けて体を支え、登るルートを蛇行させながら完登を目指すもので4人は、強靱な指先の力と優れたボディバランスを持った世界レベルの選手です。



■喜びの報告に市役所を訪れ横尾市長と歓談し、今後の活躍も期待された樋口義朗監督、樋口純裕選手、尾崎真人選手、祝茂男選手(写真左から)

10月6日、この好成绩報告に監督と選手が市役所を訪問。樋口義朗監督(佐賀工高教諭)は、「いつも自分をコントロールして登りきるよう学生の時は部活でトレーニングを積み、少年は同じ環境で戦えるが、社会人になると仕事との両立も大変。今回、プロ選手ばかりが残った成年の中で4位と健闘した2人の競技はとても輝いていた」と話され、教え子の成長と実力やクライミングの魅力を横尾市長に伝えました。



市長のWindow

▼市民のみなさんへ

ありがとう・300年祭

市民の皆さまはじめ多くの方々のご助力をいただき、去る10月25、26日に多久聖廟創建300年祭・釈菜・多久まつりの一連の行事を無事に開催することができました。この機会をおかりして、お力添え下さいました全ての方々に御礼を申し上げます。不行き届きな点もあったかと存じますが、ご寛容下さり、諸事万端を、喜びと感動の中に挙行できましたのは、ひとえに皆さまの力強いご支援をいただけた賜物と感謝いたします。

この300年の道標はゴールではなく、まさに久遠の未来へとつなぐ中継点であります。これまでの進み方、生き方、考え方をふりかえり、より理想に近づけるような努力を重ねることに向けて、お互いに決意を新たに、日々を臨みたいものです。

300年前の立志の大切さ、さらには2560年前に誕生された孔子様の教えの人間洞察力の鋭さにも思いを寄せて、私たちの人生の意義を深く考えるきっかけにしたいものだと思います。

素晴らしい人生、幸福感のある人生...などを私たちはそれぞれに求めますが、その充実感の種子は“今この時”にあり、“今ここ”の積み上げにこそあります。平凡と映る毎日の中に感謝の心をもって見つめれば、すべてが祝福された出来事の連続とも言えます。順境も逆境も「ありがとう」と受けとめ、自分自身を高める糧や試練だと前向きに臨みたいものです。そして、少しでも世の中を明るく、美しくする、小さな努力を続けていきたいものです。そのような心を持てる人々が集うまちはきっと素晴らしい地域になっていくと信じています。

永年のご尽力に感謝を捧げ、ともに未来を拓く志をもって進みましょうと呼びかけて、記念の年の御礼といたします。(俊彦)

市長コラム

市長交際費支出状況

▼平成20年度9月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	0	0
	累計	73	181,290
見舞い	今月分	1	10,000
	累計	5	50,000
御祝	今月分	5	15,000
	累計	31	159,830
賛助	今月分	1	6,000
	累計	7	39,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	1	2,100
	累計	61	143,100
会費	今月分	3	11,000
	累計	11	64,500
その他	今月分	0	0
	累計	4	17,010
合計	今月分	11	44,100
	累計	192	654,730

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115